

第 6 回	介護・医療連携推進会議 議事録
-------	-----------------

開催日時	平成29年7月18日(火)	16:00~17:00
開催場所	加野クリニック 1階	

書記 豊資会定期巡回訪問介護ステーション 管理者 藤谷

出席者	古賀市 介護支援課 介護保険係 地域医療法人 利用者家族 訪問看護ステーションE 社会福祉法人豊資会 豊資会 地域連携室 訪問看護ステーションD 訪問看護ステーションD 豊資会定期巡回訪問介護ステーション	担当者様 院長様 C様 管理者様 理事長 相談員 管理者 主任 管理者
-----	--	---

#### 1、開会の挨拶

24時間切れ目のないサービスは必要とされるはずだが、これと言った決め手がなくニーズにたどり着けていないように思える、皆様の意見をお伺いしながら模索していきたい。

#### 2、活動状況報告

- ①4~6月、利用者総数、男女別・年齢別・要介護度別・世帯別の利用者分類
- ②新規利用者、人数・介護度・世帯状況・依頼理由
- ③訪問回数、随時訪問回数と内容、コール回数、内訳
- ④時間帯別訪問回数
- ⑤具体的な支援状況

#### 4、意見交換

- ・ 看取りの方が10日で亡くなっているが、もっと長くかかわることはできなかったのか  
→ホスピスから本人希望で退院され、結果自宅で看取ることになった。
- ・ 病院に入った方が金銭的な負担は軽く済む、自宅で介護をしていると、消耗品等の費用もばかにならない。  
→家族が病院まで行かなくていい事で、時間のロスが防げる、などと別の面からも考えて頂けないか
- ・ 自宅で死にたいと思っても経済的な問題もあり、思う様に行かない事もあるかと感じる
- ・ 自宅で介護をする家族の体力が必要だと感じている。
- ・ 介護保険の制度等が分かりにくく、知らないで止むを得ず施設に入っている人もいないか
- ・ 民生委員や福祉委員を通じて、地域に情報発信をしてはどうか
- ・ 連携先の訪問看護ステーションとして、アセスメントの書式に悩んでいる、事業所として作成している書式等はないのか

→定期巡回の事業所として看護のアセスメント用書式を作成していない。現在訪問看護ステーション「やまびこ」で使用中の書式を参考にさせていただく

- 訪問看護事業所として定期巡回を利用することで、安心感が得られた。ケアの内容が、連絡ノートに記載されて利用者の情報が得られた一方で、利用した今でもこのサービスの理解が出来ていないと感じている。
- 定期巡回サービスは包括報酬で、サービスの量の制限もなく、訪問介護で提供しているサービス内容は全て提供できるが、それゆえに分かりづらいところがある。サービスの選定に当って、目安となるようなものが提示できないかと考えている。
- 限られた人数で沢山の方に利用していただくには、介護のプロ出なければ出来ない支援と、資格が無くてもできる支援を分けて考える必要もある。
- 見守りシステム等、機械で出来ることは機械化していく必要もあると考えている。
- 地域の助け合い活動も、活動をしている人の高齢化が進み、次世代の人材確保という課題がある。

#### 5、次回開催日程

平成29年10月17日(火) 16時～